

八號第九〇番ノ二

大正九年四月十日

中山第八駆逐隊司令

竹内横須賀鎮守府参謀長殿

海堡附近航路標識ニ関スル件

四月十日附横鎮第五四號照會海堡附近航路標識ニ

関スル件 本隊ノ意見左記ノ通りニ候

本問題ノ起ル所以ハ夜間或ハ晝間ニテモ雨雲霧等ノ

為視界ヲ縮少セラシ突然眼前ニ現レル海堡カ等ニ

海堡ナルヤ果シテ第三海堡ナルヤ判別セザルニ起因スル事

多キカヲ急ナリト推定シ之ヲ徹底的ニ防止セニハ尤ノ



0232

設備ヲ必要ト認ム

第一 第二海堡燈台ノ改設

第二海堡燈台ヨリ北四十五度東ヨリ西ヲ經テ南三十五度

東ニ至ル間回轉白光視認距離十五哩

第三海堡燈台ヨリ北四十五度東ヨリ東ヲ經テ南三十五度

東ニ至ル間明暗赤色毎六秒視認距離十五哩

第二 揚燈浮標ノ新設

(1) 白色揚燈浮標ヲ右ノ位置ニ新設ス

第三海堡燈台ヨリ北五十度東ノ線上ニ於テ同燈台ヨリ

リノ距離二分一哩、一哩、一哩半、二哩、四ヶ所

(2) 赤色揚燈浮標ヲ左ノ位置ニ新設ス

0233

第一海堡ヨリ南五十六度東ノ線上ニ於テ同燈台ヨリノ
距離二分一哩、一哩、一哩半ノ三ヶ所及同燈台ヨリ南
四十三度東二哩、同燈台ヨリ南四十四度東二哩七、
同燈台ヨリ南四十五度東三哩七ノ三ヶ所合計
六ヶ所

第三海堡巖壁ニ白塗標識設置

各海堡ノ巖壁ニ左記方向ヨリ距離一哩ヲ隔テテ肉
眼ニテ視認セラル、大キサニ海堡ノ番号ヲ亞良比亞
文字ニテ白塗ス

第一海堡 北西及南
第二海堡 北及南東

0234

第三海堡 北 及 南東

理由

第一ノ場合ニ於テ赤色明暗界内ニ入レハ危險ヲ意味
シ視認距離ヲ十五哩ト定メタルハ本更津方面近
ツク必要ノアル船ニ對シ盤洲自果ヲモ避クルニ便セ
ンカ爲ナリ

第二ノ場合ノ必要ナル第一ノ燈光カ故障又ハ天候ノ
爲メ甚タシク視認距離ヲ減セラルトスルモ又晝間
不用心ニ第三海堡ノ東方ニ接近スルモ其ノ浮標ニ
リテ通航不可能ナル事ヲ具體的ニ示サンカ爲ニシ
テ淺瀬上端下端ノ浮標ニ揚燈装置ヲ施セハ最

0235

妙ト信ス而シテ上端下端ハ燈光ノ色織ヲ異ニスルヲ
要スルハ透視ノ方向ニヨリ乱雜ニ視エシムル無クシテ
浮標按配ノ状況ヲ海圖ニ照シテ了解シ得ルカラ
シメ自己ノ位置ヲ判定スルニ速ナラシメンカ急ナリ
第三ノ場合ハ突然眼前ニ現レタル海堡カ何ニナルカヲ
知り易カラシメンカ急出入港兩方面ヨリ視得ル様

設置セリ

右
回
答
ス

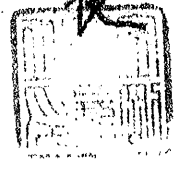
(終)

0236

一四一

大正九年四月五日

回尻舎到船長



竹内横須賀鎮字村孝謀長殿

海堡附近航路標識二周の件

横鎮第幾號ニ依ル本件ニ對スル意見別紙道

右回答ス

(別紙一葉添)

終

0237

鳥居金剛航海長提案

横鎮第五四八號海堡附近航路標識三箇事件

一、海堡附近座洲場所

第二海堡、東側殘堆

二、右座洲事件、次、場合ニ分類スルコトヲ得

晝間島影、誤認（一、灣外北水道ニ入ル場合ニ、灣内ヨリ水道ニ入ル場合）

夜間燈光、誤認（右北全、南航ト依テ、右全）

三、針路法上陥、易キ過失

一、場合ニ於テ富津ノ鼻及第一海堡ハ遠方ヨリ透視レ得ルヲ以テ富

津ノ鼻ヲ第一海堡ト第一海堡ヲ第二海堡ト過信レテ第二海堡ガ

観音崎ヨリ透視カレシ會レ合海堡ヲ第三海堡ト思ヒ第二海堡

ノ東側ニ針路ヲ採ル至ル

二、場合ニ於テ、第二第三海堡ハ互ニ航路附近ニ於テ一線ニ重支シ
易キヲメ及ビ第三海堡ガ觀音崎影下ニ掩ハレルヲメ觀音崎ニ
近キヲ第三海堡ナリト連断シ、第二海堡ノ東側ニ針路ヲ採ルニ至ル
三四場合モ燈光割合ニ弱キヲメ燈種研究ビ且ツ北航ノ場合ニハ
第三海堡燈光ノ觀音崎影ニヨリ遮蔽時間長キユト及南航ノ
場合ニハ第三海堡ト第二海堡ノ重支ナルコト其他通行帆船遭
難航程ノ多キヲメニ紛ラサルニ依リ一及ニト同様ノ結果ニ陥ルモノト思
考ス

四 右遇失ヲ避ケル手段

一、海堡ノ塗色

第二海堡ハ中央ヨリ二分シ東端ハ白色西端ハ赤色塗料ヲ施シ

南北西面ノ中央ニ「三」ノ字ヲ書ス

第三海堡ハ全部緑色ニ塗リ「三」ノ字ヲ書ス

0239

四、燈台の改造

第三海堡燈光ヲ回轉式トナシ明弧ヲ、第三海堡一盤洲鼻沖ニ限線間

西方弧ヲ白赤光東方弧ヲ赤光トナシ光カラ十二哩以上トナス

第三海堡燈光ヲ緑光トナス(燈質、現在ノ燈)

ハ針路法ヲ次、如ク指定シ其ノ注意ヲ喚起ス

北航際ハ觀音崎ヲ回り第三海堡ヲ右舷ニ見テ通過スルモ但シ

南航ハ汽船中央水道ニアガレ時ハ北航ノ汽船モ中央水道ヲ通過シ

得ル若クハ、……但シ若シ北航船舶ニシテ中央水道ニ依リトカハ常ニ南航モ之ヲ避航ス可シ

五、改造ニ伴フ副次ノ利益

海堡燈色ハ霧中ニ於テ其ノ一端一部ヲ認メタル場合ニ於テモ

其ノ何レノ海堡ナルヤヲ知ルニ便ニシテ明弧ノ區分ハ敬告戒線ヲ

ルノミナラス位置測定上ニ便ナリ

尚ホ針路法ハ第三海堡南方觀音崎附近ニ於ケル快險

海面ノ頻繁ナル遭遇船舶ニ對シ常ニ交叉セル針路ヲ
整理シ得ント信ス

0241

海軍

佐藤 三九

大正九年七月八日

九月七日

軍務局 敬受

海軍省 軍務局長 井上 洋次 敬
成 古 保 德 中 考 課 長 小 林 研 藏

軍務局

出

第一課

特

田

懸留浮標之函之件

別紙、通商軍港内懸留浮標ノ新設、撤去及消滅
更致候

軍務局

知

追々水路局 二番港務部 直接通知済 可申候

第一課 別紙 (係)

軍務第三八五號

0242



佐世保海軍港務部
佐世保軍港内繋留浮標新設撤去及番號変更

撤去ノ分

一(D一番)ヨリ(D八番)ニ至ル浮標(八個)

一愛宕山立標ヨリ北五七度東距離参拾。鏈浮標

一愛宕山立標ヨリ北二二度東距離四拾。鏈浮標

一川ノ谷(四)(八)(十)(十四)ノ浮標(八個)

新設ノ分

浮標番號

位

置

標式

D 1

防備隊營舎ヨリ北七〇度五分西
又カセ立標ヨリ北二二度五分西

距離参拾。鏈

鉄製 紅塗

D 2

防備隊營舎ヨリ北五五度西
又カセ立標ヨリ北二二度五分西

距離式拾。鏈

左

旧番號 新番號 番號変更ノ分	川 3	川 2	川 1	イ 7	イ 6	D 6	D 5	D 4	D 3	
	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西	防備隊傳字アリ 夕カ七五標アリ 北七度五分西
	距離五/四 鐘	距離五/五 鐘	距離五/五 鐘	距離五/四 鐘	距離四/四 鐘	距離五/五 鐘	距離五/五 鐘	距離五/五 鐘	距離五/五 鐘	距離五/五 鐘
	左	左	左	左	左	左	左	左	左	缺製 紅塗

0244

D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
十九番	十八番	十七番	十六番	十五番	十四番	十三番	十二番	十一番	十番	九番
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7

一

二

0245

				イ 左	イ 左	イ 左	イ 左	イ 左 巻 瀬	D 二 十 番	D 二 十 番
				五 番	四 番	三 番	二 番	一 番		
				イ	イ	イ	イ	イ	D	D
				五	四	三	二	一	19	18

洋
頁

0246

軍令部 軍務局 海軍省 陸軍省 文部省 逓信省 司法省 農商務省 內務省 外務省 大藏省 文藝院 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所 勸業講習所

軍務局

水陸部

軍令部

軍第四
號

大正九年八月五日

井出海軍省軍務局長殿
乃内横須賀鎮守府參謀長

館山灣内ニ繫留浮標臨時設置ノ件

今般海軍砲術學校ニ於ニ館山灣内ニ標
的繫留用浮標ヲ左記ノ通臨時設置致候

右爲念通知ス

左記

館山台色燈等八南二十七度東二千三百米

軍務局接受

〇八附木山



0247

483

南浮標

那古信號等、北三十四度三十分東

高島信號等、南四度西

館山白色燈等、南二十九度東二千九百米

北浮標

那古信號等、北四十九度東

高島信號等、南八度東

南浮標

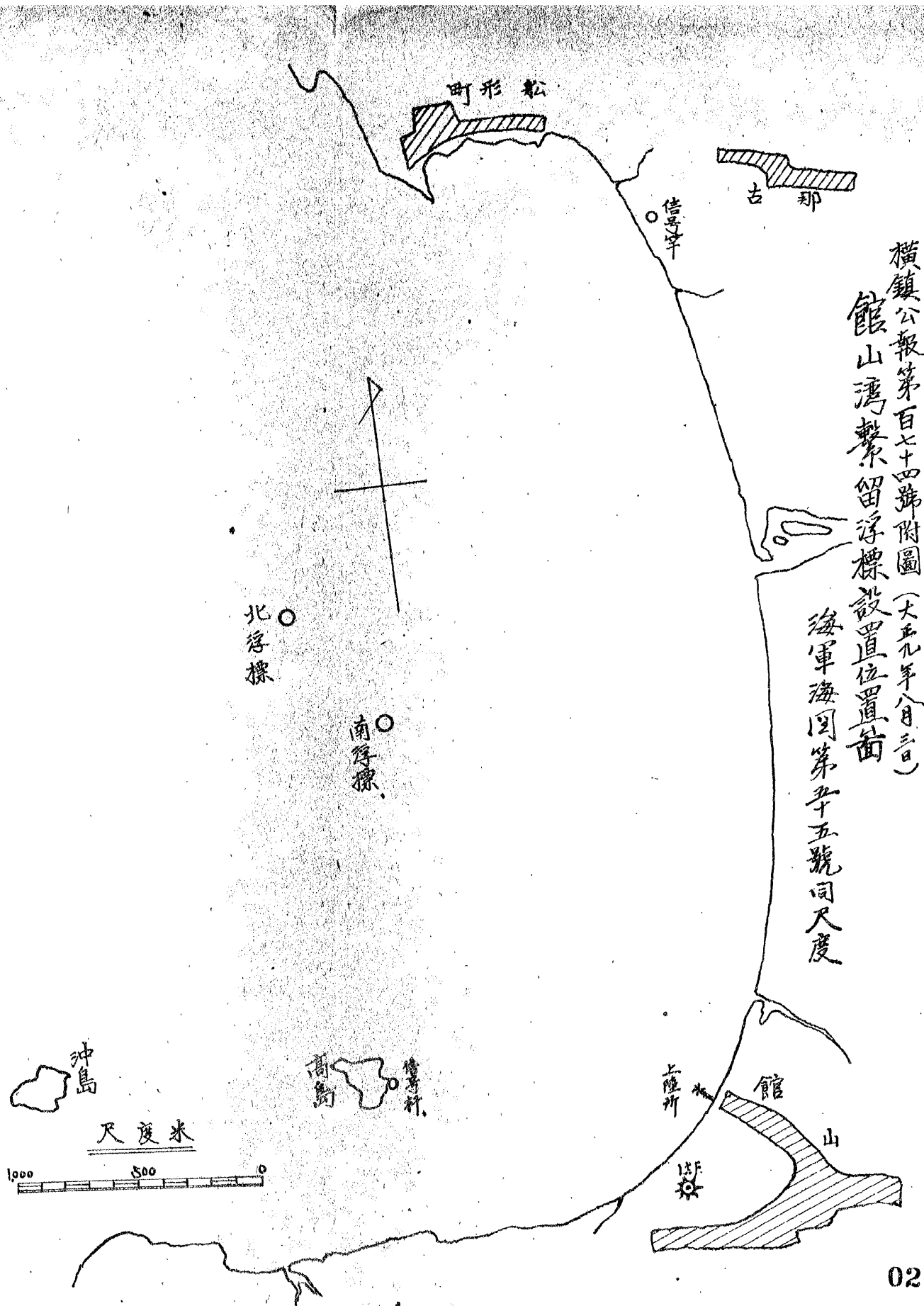
北四度

西六百米

位置圖添付



0248



横鎮公報第七十四號附圖(大正九年八月三日)
 館山湾繫留浮標設置位置圖
 海軍海図第五十五號司尺度

0249

至急

海軍

軍務局長

第一課長

第二課長

局員

同用

經理局

第一課長

第二課長

第三課長

軍務局長

吳鎮參謀長宛

大正九年

八月十日

艦船庫力試験標柱新設ニ関スル件

本件ニ関シ吳鎮様密第七一五号ノ五ヲ以テ御照會ノ趣
兼右建設位置宜宜測決定ニ付水路部ニ委託方
取計置候條御了知相成度

軍務第 四三三號ノ二
機密

杉田風納

0250

經理局
9.8.10
機密

海軍

右田答ふ

追テ右突測ニ要スル經費ハ訓令豫算ノ内ヨリ支弁スル
係ト御系社相成度増額ノ必要ヲ知可ク御上申
相味係攝致度為念申添候

經

杉田屋納

0251

軍務局長

七一五
五

大正九年八月五日

第二課長

海軍省軍務局長并出謙治殿

海軍省軍務局長并出謙治殿

艦船速力試験標柱新設関係件

在田岬半島ニ艦船速力試験標柱新設方官房機

密第九一四課訓令ニ基キ容月二十七日ヨリ二十九日ニ亘リ

本府建築科員、造船部員並水路部新井水路中佐

实地踏査上其建設位置ヲ別因ノ通リ概定致候

尚之カ実測決定ニ付テ、目下米島海峡方面ニ出張

水路部新井水路中佐ニ委託致度ニ付可然御配慮

軍務局長
機密
第四三三號

軍務局長
大正九年八月五日

0252

相煩度

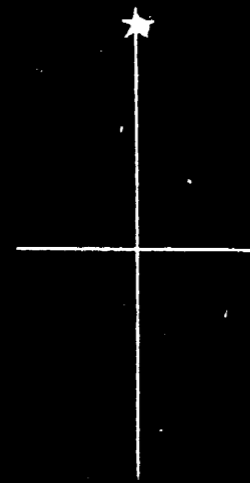
追々本実測ニ西云々経費ハ水路部支弁ル下ニ御取計ナ
得度尚本実測ハ来八月十五日頃ヨリ着手スル最
都合ト云旨新井中佐ヨリ通知ニ接シ候就テ本件
至急御處理相煩度

右照會ス

終

0253

田
佐多岬半島艦船速力試験柱新設位置圖



0254

第五〇七

郵政局長

岡田

第二課長
第四課長

第三課長

局長

事務局長

岡田

件

佐鎮金謀長

手除治標設置一件

大正九年

八月十日起
八月十八日發行済

0255

八月五日所官房第百二七三号訓令依世保工廠造形部指示承

達力認除標柱新設、周縁之冲掃懸、其準航

路、接近社后之施設、手除治標設置、一、九、四、年

由及和存

九與

追記海橋心世保造形部指示、以之、九、四、年、和存

（陸心室）

二船
9.8.11
受接

海

政廳
9.8.11
受接

覺書

大正九、八、九

小倉中佐

孤立障害浮標設置ノ件

佐世保ニ於ケル潜水艇潜航力試験標柱ノ建設位置
 別圖ノ通決定セラシタルニ付テハ、沖ノ掛縣(一尋海ノ暗岩)
 ハ其基準航路ニ接スルニ約三百五十米ニシテ潜航中ノ潜水
 艇ニ對シテ相留ノ航路標識ヲ設置セラルル要アリ

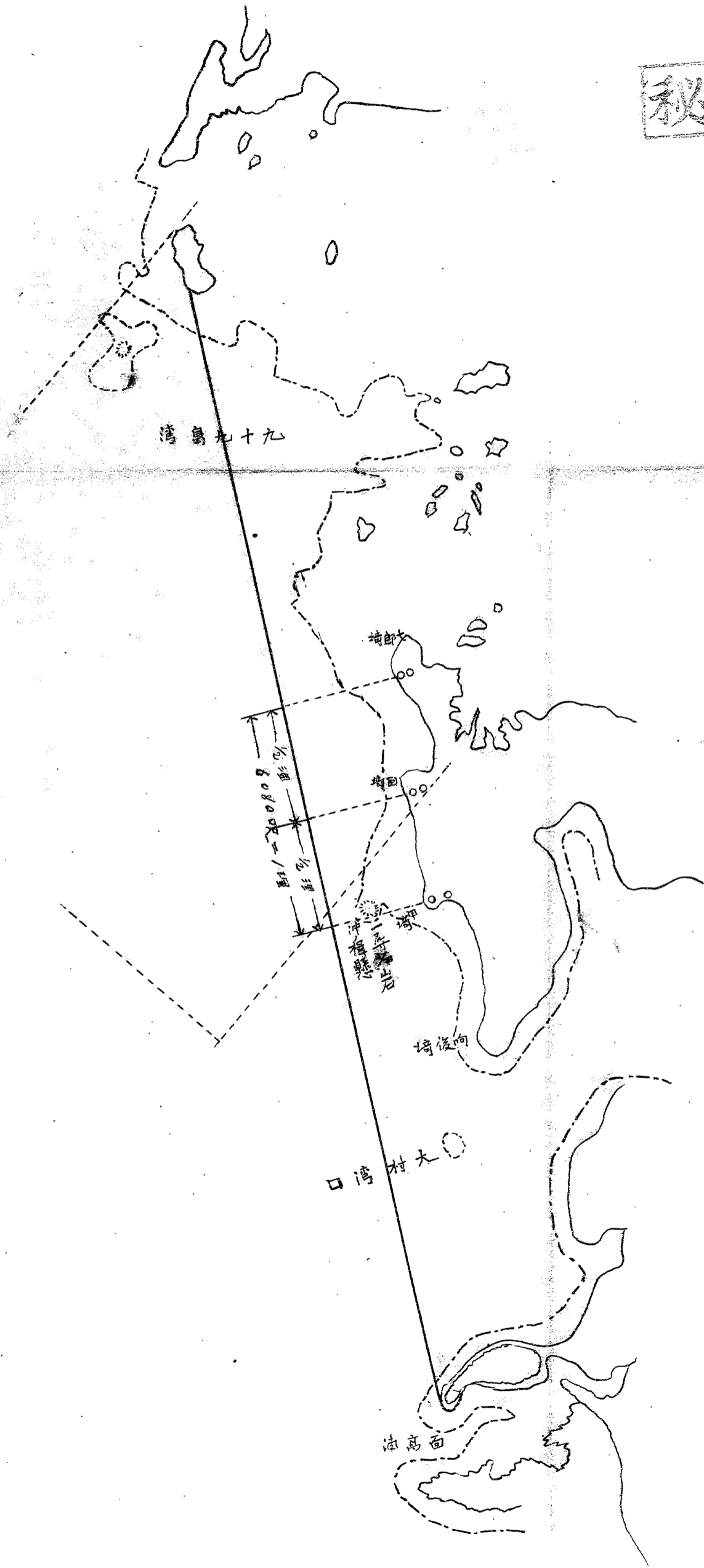
然

佐世保工廠造船部潜水艇連力試験標柱新設工事施行ノ件八月五日附
 官房第二八七三號ヲ以テ訓令済

誠心堂製

潜水艦潜航速力試験航路圖

秘



供覽

軍務六七四號

三

海軍

軍務局長 第二課長 局員

大正九年十一月十八日 軍務局長

信省管船局長宛

十月十七日起 十月十八日發付

横須賀軍港航路標識設置及
桂燈浮標廢止一件

十月十六日附船廣第九〇號ヲ以テ御照會
本件當省ニ於テハ差支無ク候
右回答ス

(宛)

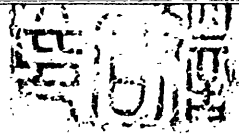
模造半葉十二行部紙

(納林小)

0258

軍第六七四號

一三



軍務局長

船庶九〇號

照

會

大正九年十一月十六日

遞信省管船局長

海軍省軍務局長殿

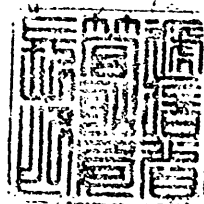
第二課長



局員

横須賀軍港航路標識設置及掛燈浮標廢止ノ件

本月六日官報掲載水路示第五十一號中ノ横須賀軍港東北防波提兩端及北防波提東端ニ新設セル三燈臺ノ點火及掛燈浮標廢止ニ關シ別紙ノ通リ當省ニ於テ告示致度候條貴省御差支ノ有無折返シ回答煩度候



軍務局接受
9. 青十省



遞信省

0259

郵便省印刷局印刷

0260

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

◎逓信省告示第七百六十四號
 神奈川縣橫須賀軍港東北防波堤兩端及北防波堤東端
 二左記ノ燈臺ヲ建設シ本年十月十五日以後點火シ同時
 三橫須賀港外防波堤東頭部掛燈浮標ヲ撤去セシ旨海軍
 省ヨリ報告アリタリ

大正九年十一月二十四日

逓信大臣 野田卯太郎

<p>一、位 置 北緯三十五度十 九分十六秒東經 百三十九度四十 分五十二秒(水 路部出版第六千 六十二號海圖)</p> <p>一、構造及著色 鐵造格子架橋形 白色</p> <p>一、自燃燈 高 五丈 一、自燃燈 高 五丈五尺 一、等級及燈質 第五等アセチリ ン瓦斯明暗白光 燈光發射ノ時間 三秒遮暗ノ時間 三秒</p> <p>一、明 全度 紅色</p> <p>一、燭光 數 千三百</p> <p>一、光達距離 晴天ノ夜十三浬</p> <p>橫須賀軍港東北防波堤西 燈臺</p> <p>一、位 置 北緯三十五度十 九分三十六秒東 經百三十九度四 十分九秒(水路 部出版第六千 六十二號海圖)</p> <p>一、構造及著色 鐵造格子架橋形 綠色</p> <p>一、自燃燈 高 三丈五尺 一、自燃燈 高 四丈</p>	<p>一、等級及燈質 無等アセチリン 瓦斯明暗綠光燈 光發射ノ時間二 秒遮暗ノ時間二 秒</p> <p>一、明 全度 紅色</p> <p>一、燭光 數 四十</p> <p>一、光達距離 晴天ノ夜七浬</p> <p>橫須賀軍港北防波堤東端 燈臺</p> <p>一、位 置 北緯三十五度十 九分二十八秒東 經百三十九度四 十分五秒(水路 部出版第六千 六十二號海圖)</p> <p>一、構造及著色 鐵造格子架橋形 紅色</p> <p>一、自燃燈 高 三丈五尺 一、自燃燈 高 四丈</p> <p>一、等級及燈質 無等アセチリン 瓦斯明暗紅光燈 光發射ノ時間二 秒遮暗ノ時間二 秒</p> <p>橫須賀軍港東北防波堤西 燈臺</p> <p>一、位 置 北緯三十五度十 九分三十六秒東 經百三十九度四 十分九秒(水路 部出版第六千 六十二號海圖)</p> <p>一、構造及著色 鐵造格子架橋形 綠色</p> <p>一、自燃燈 高 三丈五尺 一、自燃燈 高 四丈</p>
--	--

大正九年十一月二十四日

内務大臣 床次竹二郎

●内務省告示第百五號

國道二號路線(甲)中大阪府大阪市、兵庫縣神戸市間ヲ變更シ經過地ノ表示ヲ左ノ通改ム

大正九年十一月二十四日

内務大臣 床次竹二郎

〔西成大橋經由〕ノ次ニ「大阪府西成郡歌島村、兵庫縣川邊郡小田村」ヲ「尼崎市」ノ次ニ「兵庫縣武庫郡鳴尾村、瓦木村」ヲ加ヘ「兵庫縣武庫郡西宮町」ヲ「西宮町、本山村、魚崎町、住吉村、御影町」ニ改ム

(参照)

大正九年四月内務省告示第二十八號抄録

一號路線(三重縣三重郡日本村ニ於テ分岐) 三重縣鈴鹿郡龜山町、關町 滋賀縣栗太郡草津町 大津市、京都市

(下京區鳥丸通ヨリ七條通ニ至リ西折シテ大宮通經由) 大阪府(葎屋橋、淀屋橋) 大江橋、西成大橋經由 尼崎市

兵庫縣武庫郡西宮町 神戸市(御幸橋大關通經由) 明石市 姫路市(西新町經由) 兵庫縣飾磨郡餘部村、岡山市

廣島縣安藝郡海田市町 廣島市 山口縣吉敷郡小郡町 下關市 門司市 小倉市 福岡市 佐賀縣三養基郡

田代村 久留米市 福岡縣三井郡國分村 熊本市 熊本縣北郡水俣町

●陸軍省告示第三十六號

大正七年陸軍省告示第一號檢閱スヘキ軍隊教育用文書圖畫ノ名目中左ノ通追加ス

大正九年十一月二十四日

陸軍大臣 男爵田中義一

大正九年 陸軍第五一〇〇號 自動車操縦教範草案

●文部省告示第四百三十六號

高知縣幡多郡中村町ニ設置セル幡多郡高等女學校ヲ高知縣幡多郡高等女學校ト改稱ノ件認可セリ

大正九年十一月二十四日

0262

陸軍省	文部省
告示	告示
第三十六號	第四百三十六號

●文部省告示第四百三十六號
 高知縣幡多郡中村町ニ設置セル幡多郡高等女學校ヲ高
 知縣幡多郡高等女學校ト改稱ノ件認可セリ
 大正九年十一月二十四日

及 言 省

通信告示第 〇 號

神奈川縣橫須賀軍港東北防護堤東端ニ燈台ヲ建設シ本年十月十五日以後是火之同時ニ防護堤東端外防護堤東端部柱燈浮標ヲ撤去セシムル事有リ報告アリ

大正九年十一月 日 通信大臣

橫須賀軍港東北防護堤東端燈台

- 一位 位置 北緯三十五度十九分十六秒 東經百三十九度四十分五十二秒
 (水路部告示第千六百十二号海圖)
- 一構造及著色 鐵造格子鉄櫓形 白色
- 一灯基礎 高 五丈
- 一灯水面高 五丈五尺
- 一等級及燈質 第五等アセキノ瓦斯明暗白光燈亮発射ノ時同三秒消暗ノ時

以下ニ示スル
 14
 10

0264

0263

知縣補多郡高等女學校下改稱ノ件認可セリ
大正九年十一月二十四日

原簿

〇手片

海

横須賀軍港東北防波堤西端及北防波堤東端ニ並記
以テ本年十月十五日以後是火之同時ニ横須賀港外防
部挂燈浮標ヲ撤去セシムル旨軍省ヨリ報告アリ
年十月

通信大臣

須賀軍港東北防波堤東燈台

一緯三十五度十九分十六秒 東經百三十九度四十分五十二秒

水塔部出吸口千六十二号海圖

鉄造格子象櫓形白色

五丈

五丈五尺

第五等アセチレン瓦斯明暗白光燈亮発射ノ時間三秒 暗ノ時

0264

0263

以下ニ於テ
-1488

同三秒

一 明 弧 全度

一 燭 光 数 千三百

一 光 達 距 离 晴天 / 夜十三哩

横須賀 東出地堤 西燈 廿堂

一 位 置 緯 三十五度十九分三十分 東經 白三十九度四十分九秒

(水防環 直径才千六百二十号 海图)

一 構 造 及 着 色 鐵 造 檢 子 架 槽 形 緑 色

一 燈 基 礎 高 三丈五尺

一 燈 水 高 四丈

一 燈 及 燈 室 長 五尺九寸五分 幅 四尺 燈 室 射 一 吋 二 分 燈 室 射 一 吋 二 分

新

逕信省 經理局 印刷

0265

一 明孤 全度

一 燭光数 四十

一 光達距離 晴天ノ夜七哩

松須足軍港也所性堤東燈臺

一 位 置 北緯三十五度十九分二十八秒 東經百三十九度四十分五秒(水鏡印)

光收中千六十二(海圖)

一 構造及著色 欽造格子免槽形紅色

一 至白燈臺高 三十五尺

一 至白燈臺高 四丈

一 燭光数 六十

一 光達距離 晴天ノ夜八哩

一 記事 以上三燈台ハ看守員ヲ常置セシメ一燈火消滅スルトキ

ハ之カ再点火マテ多クノ時同ヲ要ス

題名書検印局印

0267

大正九年十月六日官報

水路告示第五十一號中按率

九年告三二八項

東京海灣一横須賀港 燈臺設置及挂燈浮標撤去

(一) 燈臺設置

位置 (イ)

東北防波堤(工事中)南東端
夏島東側防波堤起點ヨリ 九八度(南七七度東) 一哩一〇分

略記

Lt. Occ. en. 5 sec. 55ft. mts. 15m.

細目

燈質第五等「アセチリン」瓦斯 明暗白光
明弧全度 燈高礎上五十呎 燭光
數一、三〇〇 構造白塗四角形檜形鐵造

名稱

東北防波堤東燈臺

位置 (ロ)

東北防波堤(工事中)北西端
夏島東側防波堤起點ヨリ 七四度(北七九度東) 六鏈

略記

Lt. Occ. Gr. en. 4 sec. 30ft. mts. 7m.

細目

燈質無等「アセチリン」瓦斯 明暗綠光
明弧全度 燈高礎上三十五呎 燭光數四
十 構造綠塗四角形檜形鐵造

名稱

東北防波堤西燈臺

位置 (ハ)

夏島東側防波堤(工事中)東端
夏島東側防波堤起點ヨリ 八六度(南八九度東) 五石鏈

略記

Lt. Occ. Red. en. 4 sec. 40ft. mts. 8m.

細目

燈質無等「アセチリン」瓦斯 明暗紅光
明弧全度 燈高礎上三十五呎 燭光數六
十 構造紅塗四角形鐵造

名稱

北防波堤東燈臺

位置 (ニ)

挂燈浮標削除
北中根ノ南方約二之鏈

略記

Lt. Fl. en. 3 sec. 40ft. mts. 6m.

海圖

一〇六二—九〇

偏差

五度西

誌類

日本水路誌一巻一三二頁—燈臺表上卷
三頁八番/a(一)、同八番/b(口)、同八番/c

出所

(ハ) (記入)、同九番(ニ) (削除)
横須賀鎮守府

海軍

海軍省第十五行隊誌

軍務局

堀内

第二課

向

軍務局受

信箋

四三

中件ハ速ニ取返シテ
イハテ

9月

大正九年九月廿日
潜水部長

林佐世保鎮守府参謀

堀内海軍省軍務局長殿

示險浮標設置ノ

當軍港境域内大村灣口附近沖ノ楫懸ノ西方ニ左記ノ通示險浮標

ヲ設置致候

右通知ス

追テ水路部へハ當港務部ヨリ直接通知濟ニ付申添候

左

記

第三班

海

軍務局

軍令
濟

0269

位 置

白瀬燈臺ヨリ北五二度東

距離一八^五/_五 鏈

浮瀬立標ヨリ南三四度三〇分東（立標ハ艦船速力試験用ノモノ）

様 式

紅黒横線塗り圓錐形鐵製浮標

（終）

海 軍

0270

軍務局

水路部

檣鎮第五五九號

大正九年十月二十一日

横須賀鎮守府司令長官 山屋 他人

海軍大臣 野島 加藤 友三郎 殿

第二課

桂燈浮標撤去ノ件

當軍港防波堤ニ明治四十五年二月九日碇置ノ

防波堤東頭部桂燈浮標ハ燈台設置ノ爲メ

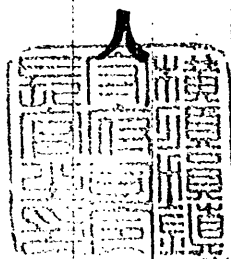
不用ニ歸シタルニ依リ大正九年十月十八日限リ撤

去ス

右報告ス

追テ遞信省へモ御通知相成度

終



海軍 軍務局 受

9月外官

0271

軍第六七四號

軍令部 濟

水路部

第一課

第二課

軍務局長

第二課長

局員 向田

大正九年十月二十九日 軍務局長

佛後省管船長

桂燈浮標撤去一件

明治四十五年四月十日附管船長第五一四號仰由在之條

十月二十九日 發付

燈架設置ノ旨不用ノ條本月十日之ヲ撤去セル旨

船長右ノ條仰了知相成

右通

第三班

倉庫

0272

軍令部

水路部

海軍 總務課第十三日付

軍令部



管見坤第五四八號

昭憲 明治四十五年四月十日

弗佳者為形之長湯河元臣

海軍省軍務局長松内重次郎

橫濱船院少佐桂燈原標置一併

從來古有之於標置於北中根原標置北東約
 三十間所之般桂燈原置、旨標置於船路標置後
 理所(通知有之候報、候知、松之時標置、ハ、將多水久標置
 一、之可有之候、若シ、水久標置、ハ、有之候、ハ、古者所置、原
 標置、自是、存置、ハ、之、無、之、付、之、ヲ、撤去、シ、書者、所置、ハ、之、付
 古者、於、之、告示、ヲ、出、之、ハ、其、社、存、在、記、事、次、承、知、政、令、候
 近、今、本、所、如、事、業、之、航、路、標、置、一、際、ハ、標、置、者、之、相
 成、又、一、時、設、置、之、ハ、其、部、交、通、相、成、候、標、置、候

(如地記)

海軍省

海軍 明治四十五年四月十日

0273

軍部一三九號一五

明治四十五年七月十日軍務局長

第位有司官形と長次

横須賀港外掛燈浮標一件

右記の如く軍部一三九號一五の如く御座る一件左記の如く候

一、貴省所管ナル北中根浮標之ヲ撤去スルノ旨奉テマシ

二、右掛燈浮標ノ横須賀港外掛燈浮標ノ事申取候

置、燈置タルニシテ防波堤竣工(明治四十九年分)上其

一、右掛燈浮標ノ設置タル見込

三、右掛燈浮標ノ設置タル見込

右記の如く

右記の如く掛燈浮標ノ設置ノ點燈等取置未定ノ旨ノ如く候

條定候上ノ旨、御座候事可致候

(別紙略)

海軍省

軍務局

水路部

軍令部

大正機務第... 第二號

大正九年十月四日

大湊要港部

海軍省軍務局御中

添標撤去一件

本年五月六日大要撤去第一號ヲ通告當要

港第一區内ニ魚雷艇射力大ニ仮設セシ添標七個

十月三日撤去致候

右通報ス

第一號

軍務第二七〇號

海軍

軍務局接受

9月9日

水路部 9.11.2 受領

新小部 受領

0275

水

軍務局長

第二課長

局員

水路部
9.11.22
受接
171.7

部令彙
911.19
受接

大正九年十一月十五日

吳鎮守府參謀長齋藤七五郎

海軍省軍務局長堀内三郎殿

真雷射場ノ件

軍令部

廣島灣兜島南北真雷射場標的浮標ノ修理ノ爲メ

中央標的浮標ノ々々殘シ各射場F, G, H, I, 四浮

標, 一時撤去セリ

水路部

通報ス

第一課
第三課

軍務第六七二號
機密

0276

軍務第七二二號
機密

軍務
第一課

軍務局長

佐鎮機密第五七一號

大正九年十二月十五日

海軍省軍務局長 堀内三郎 殿
陸軍省軍務局長 杉本 殿

第一課長 局員

浮標之圖を以て

陸軍省軍務局長 堀内三郎 殿
陸軍省軍務局長 杉本 殿

通知

陸軍省軍務局長 堀内三郎 殿
陸軍省軍務局長 杉本 殿

付申

(別紙ニ添付)

(封)

海軍

陸軍省軍務局長 堀内三郎 殿

九百十八

軍務局長

9.12.22

0277

S3 S4 S5		S2	S3 S4 S5	S2	名称	名称	位置	位置
浮標	浮標	浮標	浮標	浮標	防務部立標(五区北二区境界北七三度三分西)	防務部立標(五区北二区境界北七三度三分西)	防務部立標(五区北二区境界北八一度西)	防務部立標(五区北二区境界北八一度西)
右	右	右	右	右	防備隊信号竿	防備隊信号竿	防備隊信号竿	防備隊信号竿
合	合	合	合	合	防備隊信号竿	防備隊信号竿	防備隊信号竿	防備隊信号竿
					新設ノ分	新設ノ分	新設ノ分	新設ノ分
					浮標	浮標	浮標	浮標
					杉木(24)△南六十九度西	杉木(24)△南六十九度西	杉木(24)△南六十九度西	杉木(24)△南六十九度西

0278

三
二
目

備考ニ全番号ニ何ヲ以テ一組トス

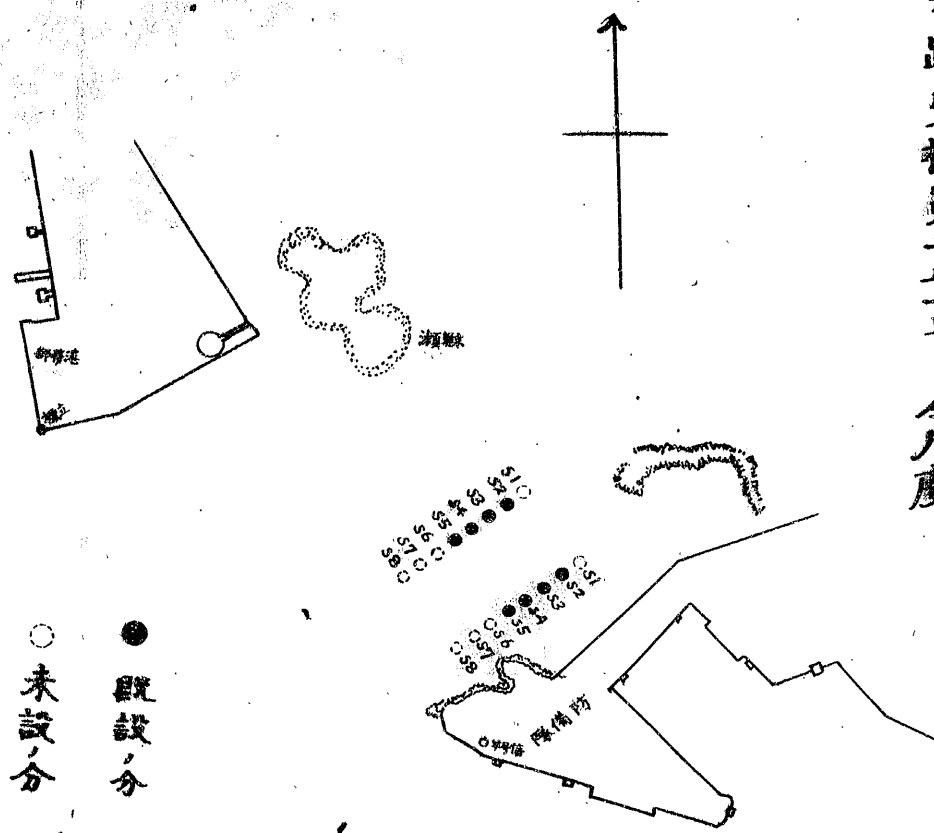
ニS1 S6 S7 S8ハ要具ノ都合上後日設置ノ豫定

附圖添付

終

0279

水路軍機第二五一号ト全尺度



○ 未設分
● 既設分

0280

軍第六八五號

軍務局長

水路部

軍令部

五方三

大正九年十月三十日

堀内海軍省軍務局長殿
竹内横須賀鎮守府參謀長

航路標識設置ノ件

横須賀軍港内航路標識一特撤去中ノモノ左記
通設置致候

右ノ通知ス

各班

左記

白俵置

新位置

記

事

0281

水路部 9.11.10 受接

軍令部 9113 受接

					荒塚鼻M標ノ 南東ノ東ノ七五 鏈	長崎鼻M標 南ノ下ニ鏈
					荒塚鼻M標ノ 南七十度東ノ七 鏈	長崎鼻M標東 南ノ九ニ鏈
				一、識別構造等ハ後前ノ 通	二、兩浮標連續線ノ南東 方ハ三十二尺ニ淺深	

終

0282